



270

若竹だよい



【巻頭言】

心理治療

—子供の部屋が箱庭療法—

園長 野田大燈

先月、徳島で催された児童養護施設関係の研修に参加させて頂きました。

正に児童福祉の現場で児童福祉のために働いておられる方ばかりの研修会でした。

丸 2 日間休憩の時間も惜しんでの研修で、疲れ果ててしまいましたが、とても有意義な研修でした。

その研修の中で、講師の方が「子どもの部屋が箱庭ですよ」と言われたことが研修を終えて 1 か月を経ようとしています。今以って鮮明に残っています。

箱庭療法は心理療法としてはどうしてもポピュラーなものです。心理士の力量によっては可なり高度な療法となります。

約 1 辺四方の砂の箱の中に児童の心の赴くままに人形のミニチュアや建物・樹木・車などを置いてゆくの。です。

カウンセラーは非指示が原則で、意思を消して傍にいます。

何の指示も助言も与えないのに、児童は思うがままに次々と配置していきます。

特に言語表現が不得手な児童にとっては心の思いが形を通して表現できるのです。

過去の嫌な思い出や、或いは言葉には出来ない願望を表現することによって、汚れた下着を脱ぎ棄てて行くように無意識に心の脱皮が計られるのです。

箱庭療法は回を重ねる毎に表現の内容が変わってきます。

箱庭療法の先輩に聞いた話ですが、A 君の箱庭では女性の人形を砂の中に埋めたそうです。それは虐待を受けて育った彼にとってはそれがトラウマとなってその女性が許せなかったのでしょう。

カウンセラーも箱庭を通して彼が女性に抱いている感情が初めて分かったのです。

荒んだ感情の現れた箱庭での表現も回数を重ねることによって穏やかな作品に変化していった、と聞きました。

心の状態が安定してくれば言葉使いも変わり、身体の高張も徐々にとれてきます。

先の研修会で聞いた「子どもの部屋が箱庭ですよ」は、荒れ荒んだ状況で入所してきた時の子どもの部屋は心の状態と同じく荒れ散らかっていたでしょうが、治療が進むことによりこころのゆとりが所持品を大切に扱ったり整理整頓ができるように変化してゆくの。でしょう。

子どもの心理状態が日々の生活に現れるとするなら、問題行動を起こした時に解決策の糸口が見えていると言えないだろうか。

しかしながら、ネグレクトや無教育で育ったのでは整理整頓も理解出来ないのが当然でしょう。

生活指導は室内の整理整頓と時宜に適った衣服の着用指導等が大切だと考えます。

子どもも環境の動物です。対象児童に適った温かみのある生活指導によって心を癒し相手のことが思いやられる子供にと適応して行くと思えます。

心の変化が形になって現れなければ「治療効果」が上がったとは言えないでしょう。

若竹学園夏祭り



7月9日、待ちに待った若竹学園夏祭りを開催しました。午前中、小雨が降る中、中学生男子が中心になり頑張ってテントを立ててくれました。小学生たちは飾り作り、女兒たちは食事会場の飾りつけをしました。午後からは天気が回復、晴れてくれたおかげで、やや遅れていた出店準備もスピードアップし、予定より早めに終わることができました。

夏祭りがスタートすると子どもたちはしっかり自分の持ち場で声を掛けあい、来てくださった方々におもてなしできていました。



沢山の方が来園下さる中、子どもたちは疲れ一つ見せない顔で、接客したりルールの説明をしたりと大忙しでした。

夏祭り終了後に子どもたちに感想を聞きました。

女子 R・M さん

声を出して呼び込みが出来ていたからお客さんがたくさん来てくれて嬉しかったし、やりがいがあった。

男子 R・H さん

退園生や学校の先生が来てくれて嬉しかった。自分の頑張っている所を見せられたかなと思う。

感想には、「楽しかった」や「会えて嬉しかった人が来てくれていた」と書いてくれている子どもたちが多くいました。

女子は制作活動の一環として夏祭りの絵を描きました。自分の持ち場の絵だったり、会場全体の絵だったり様々でしたが子どもたちの心に残る夏祭りとなった様で職員一同、嬉しく思っています。



会場全体をかいてくれました！



自分の持ち場を思い出してシロップの配置などをかいてくれました！

それぞれの夏祭り、それぞれが満足げな表情をしていたのが印象的でした。

8 月青峰・若竹学級だよ

1 学期末テストで力試し

6 月 22 日 (水)～24 日 (金) の 3 日間、中学生は 9 教科、小学生は 4 教科のテストを実施しました。わからない問題にも粘り強く、最後まで集中して取り組んでいました。特に中学 3 年生はテスト勉強にも意欲的に取り組み、それぞれの進路に向かって努力している結果が表れていました。

平和について考えました



7 月 4 日 (月) には『高松空襲の日』にあわせて、小・中学生合同で高松空襲の資料などを見ながら、戦争の悲惨さを学び、平和の大切さを考えることができました。



また、7 月 6 日 (水)・7 日 (木) には沖縄戦についてガイダンスを受けた後、ドラマ「さとうきび畑の唄」を鑑賞しました。2 時間以上の長編ドラマにもかかわらず、最後まで真剣に視聴し、中には感情移入をして涙を流す者もいました。この学習を通して、戦争によって尊い命が理不尽に奪われたり、家族が引き裂かれたりし、人生が狂わされてしまうことを学び、戦争を繰り返してはいけないという決意を新たにしました。

プールが始まりました

7 月からプールでの学習がスタートしました。



学園内にはプールがないため、亀水運動公園の市営プールへバスで移動し、25m のタイムを計りました。また、25m 泳げない者は泳ぐ距離を測り、それぞれの目標に向かって一生懸命泳ぎました。自分の記録を更新したときには満足そうな笑顔が見られました。

調理実習がありました

1 学期最後の家庭科の授業で小・中合同でパフェづくりをしました。各自で 3 種類のアイスからベースを選び、思い思いのトッピングを施し、見た目にもおいしそうなパフェが完成し、みんなで美味しくいただきました。片付けも協力して素早く行いました。



学期末懇談会をしました

放課後、学園の担当職員と本人、担任教師の三者懇談を行いました。学習に関することや進路に関する事など、今後のより良い学校生活に向けて 30 分間程度話し合いました。

地引網体験!



気持ちのいい天候に恵まれた 7 月 2 日土曜日、さらスポーツクラブさん主催の地引網体験に参加してきました。子ども達は、網にかかった魚に興味津々でした。午後からは、魚(イカ・アジ)の調理体験をボランティアの方と一緒に行いました。参加した小 6 男児は、「刺身が美味しかった!」と話しています。さらスポーツクラブの皆さん貴重な体験の機会を与えて頂きありがとうございました。

~御寄附ありがとうございました~

表原 翼 様	お菓子
佐藤 秀樹 様	桃
平田 行久 様	お茶
吉田 守 様	ジュース
夏祭り御寄附	
泉川 慶喜 様	お菓子
香川銀行 様	ジュース
香川県子ども女性相談センター様	ジュース
山倉 麻由子 様	ジュース
夏祭り募金箱	合計 8,195 円

若竹学園増改築基金御寄附

鞍井 孝 様 10,000 円

平成 28 年 7 月末現在のご寄附総額は 120,000 円です。ご支援ありがとうございます。

7 月行事

- 2 日 さらスポーツクラブ地引網体験
- 8 日 プール学習
- 9 日 夏祭り
- 13 日 プール学習
- 14 日 プール学習・買物学習
- 20 日 終業式

在籍人数 平成 28 年 7 月 25 日現在

区 分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男 子	小学生	2	2	4
	中学生	5	7	12
	その他	0	0	0
	計	7	9	16
女 子	小学生	1	0	1
	中学生	4	1	5
	その他	0	0	0
	計	5	1	6
合計		12	10	22

編集後記夏休みになり子どもたちが心待ちにしている行事もあります。子どもたちの体調管理などをしっかり行っていきたいです。

保育士 田部侑梨奈

第 270 発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

T E L 087-882-1000 F A X 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp/>

E メール wakatake@mail.netwave.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 野田 大燈